



南小だより



櫛引南小学校

令和7年10月29日

褒められて育つ

校長 奥山 徹

先日、かかりつけ医に行ったら褒められました。中性脂肪値が正常値になっていたからです。看護師さんに「食生活をちゃんと見直してえらいですね〜。」と言われ、すごく嬉しかったです。この歳になってもやはり褒められるとうれしいし、「今後がんばるぞ!」という気持ちになれます。

私もふだん、南小の子どもたちのいいところを見つけてたくさん褒めようと心がけています。その際、次のようなことを意識しています。

- ☆ただ褒めるのではなく、どこがよかったかをきちんと伝える
- ☆すごいことだけでなく、ささいなことも見逃さない。
- ☆結果よりも、そこに至るまでの過程のがんばりに目を向ける。
- ☆できるだけ「感謝の言葉」を添える。
- ☆他と比べないようにする。



これからの未来を築いていく子どもたちに必要な「生きる力」の土台となるものに「自己肯定感」「自尊感情」があります。自分ではまだ気づいていない自分のよさを知るためには、周りの人たちの声かけが大切です。ちょっとした声かけで小さな自信が生まれ、そこから自己肯定感や自尊感情の高まりにつながっていくのです。

学校教育では今、「発達支持的生徒指導」と言われる考え方のもと、子どもたちの成長を支援しています。発達支持的生徒指導とは、特定の課題を意識することなく、全ての児童生徒を対象に教育目標の実現に向けて、教育課程内外の全ての教育活動において進められる生徒指導の基盤となるものです。もう少しかみ砕いて言いますと、普段から子どもたちへの挨拶、声かけ、励まし、賞賛、対話を活性化することで、子どもたちの自己理解力を高め、本来もっている善の心やチャレンジしたいと願う意欲を高めようとすることです。

こういった子どもたちへの働きかけは、保護者・地域・学校が一丸となって行うことで、より効力を発揮するものだと思います。お家や地域の中で、ほんのささいなことでもいいです。ぜひ、子どもたちのがんばりやありのままの姿にお声がけしていただきたいと思います。みなみっ子一人一人が、いのち育むまち櫛引を愛し真心をつくし夢に向かって学んでいくことを心から願っております。

晴れる！ 晴れる！

10月になり一気に秋らしい天候となり、爽やかな秋晴れと秋雨の日が交互にやってくるようになりました。10月を振り返ると、校外学習や外での活動は、ほとんどの日が晴れたようでした。

☺ **10/2(木)マラソン記録会は晴天。前日の雨でグラウンドは最高のコンディション！**

☺ **10/10(金)1,2年生が金峰へ秋探し。雲がほとんどない晴天！**

☺ **10/15(水)3年生が海洋学習で加茂の海へ。見事な秋晴れ！**

☺ **10/17(金)地域のお年寄りの方へいんど配り活動。またもや晴天！**

きっと南小には、絶大な力を持つ、晴れ男・晴れ女がいるにちがいありません。いったいだれなのでしょう？（私かな〜…）